

平成 21 年 9 月 24 日

国土交通大臣  
前原 誠司 様

北陸経済連合会  
会長 新木 富士雄



### 北陸新幹線(長野・金沢間)工事実施計画(その2)の早期認可について(お願い)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、北陸地域の活性化のため種々ご理解ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、北陸新幹線工事実施計画（その2）につきましては、8月4日付で、御省より沿線各県に対し意見聴取が行われましたが、一部の県からは未だ回答がなされていない状況です。

また、今般、営業主体であり一部の工事を受託するJR東日本およびJR西日本から、「9月末までに着手できない場合、完成期限までに確実に完成させることを保証できない」旨の指摘がなされております。

北陸新幹線は、昭和48年の整備計画決定以降、沿線5県が一致団結して幾多の困難を乗り越え、沿線県も多額の負担をして、今、ようやく、平成26年度末の金沢までの完成を目指して工事が相当進められてきているところであります。

昭和42年設立の当連合会の歴史は、北陸新幹線の歴史とともにあったといつても過言ではなく、これまで幾人もの先輩方が心血を注いできた北陸地域の悲願の事業といえます。

当連合会といたしましては、工事実施計画を巡る現在の状況に関しまして、平成26年度末の完成が遅れるのではないかと、大変憂慮している次第です。

大臣におかれましては、県、市町村、経済界を含めた沿線地域が北陸新幹線の完成を望んでいる点をご斟酌いただき、早期の工事認可を賜りますようお願い申し上げます。

敬具